

CASBEE®

CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	シティライフ水前寺公園通り新築工事	階数	10		
建設地	熊本市中央区水前寺1丁目580、583	構造	RC造		
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	101 人		
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	4,500 時間/年		
建物用途	工場, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年6月14日		
敷地面積	801 m ²	作成者	伊東 正太郎		
建築面積	310 m ²	確認日	2014年6月16日		
延床面積	2,345 m ²	確認者	吉永 拓郎		

1 CASBEE評価結果																																				
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																				
		BEE = 1.0 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																		
100 50 0 環境品質 Q 3.0 1.5 BEE=1.0 環境負荷 L S A B⁺ B⁻ C 47 43 1.0		■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																	
			BEE値	Q値																																
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																
C	★	劣る	0.5未満	—																																
■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)		■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>			判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																			
30%以下	☆☆☆☆☆																																			
30%超60%以下	☆☆☆☆																																			
60%超80%以下	☆☆☆																																			
80%超100%以下	☆☆																																			
100%超	☆																																			
		排出率 91%																																		

2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				72
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		評価点	■熊本県重点評価基準	
		70.9	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		67.5	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		82.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		69.7	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

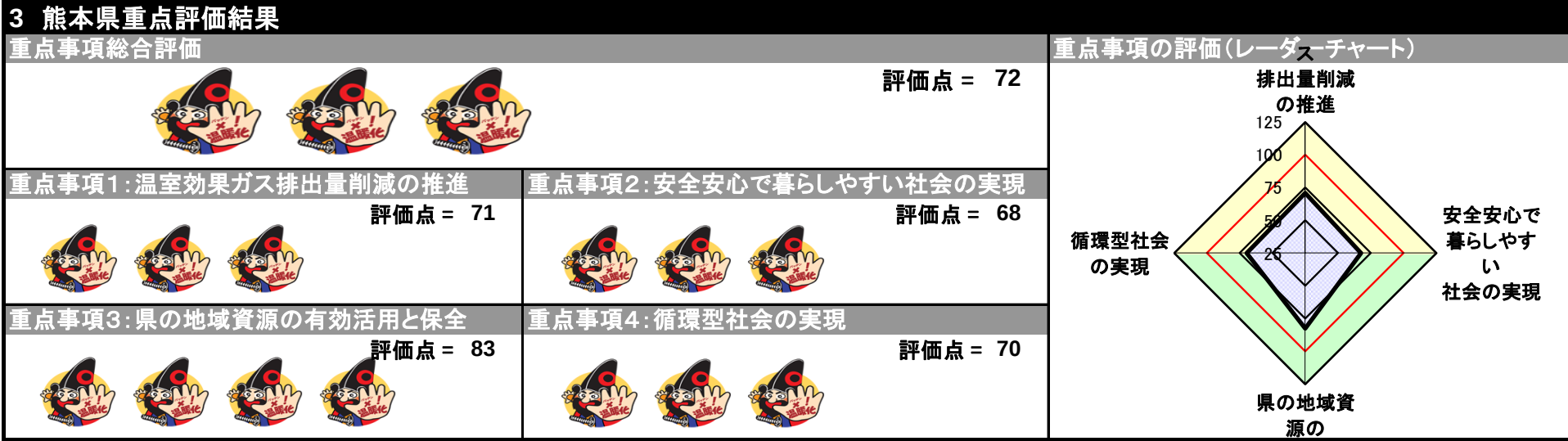
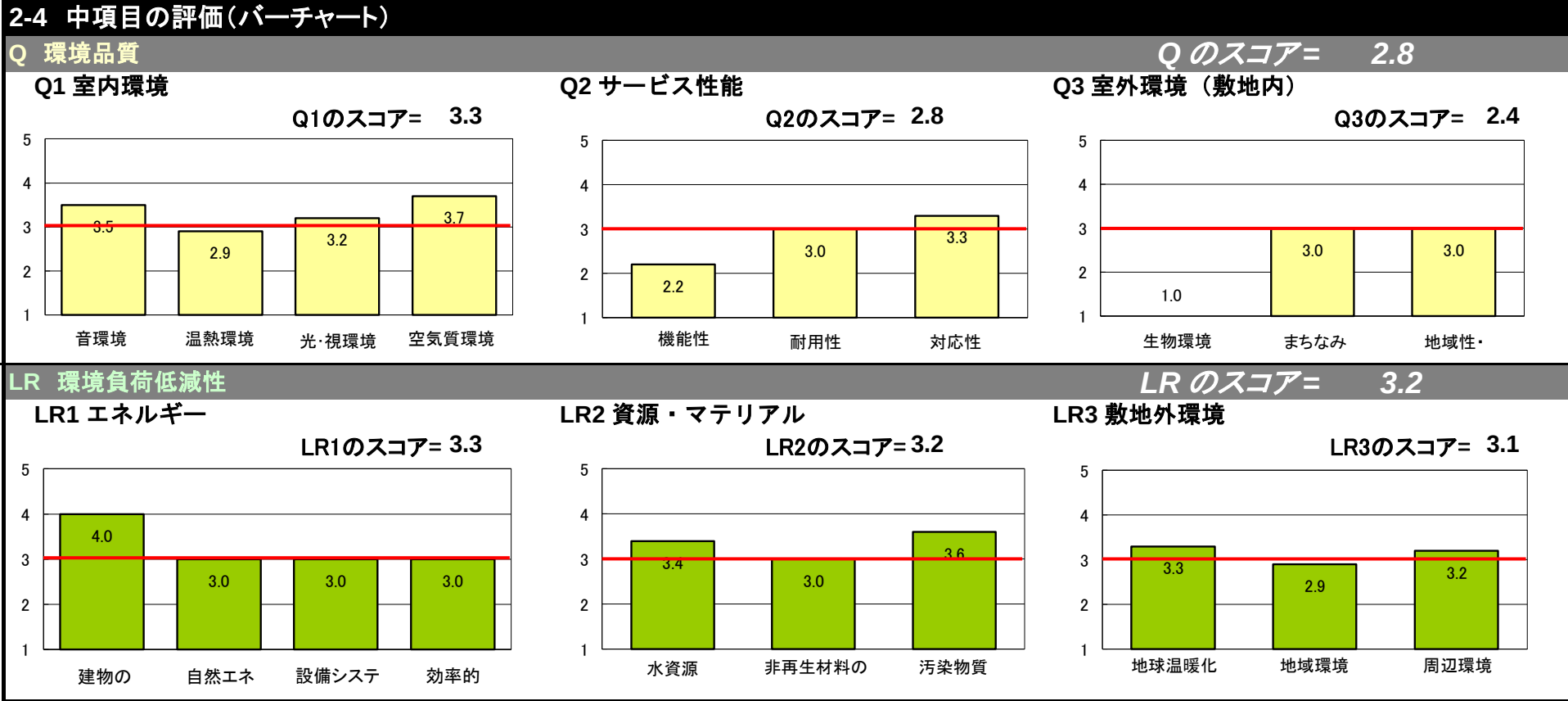
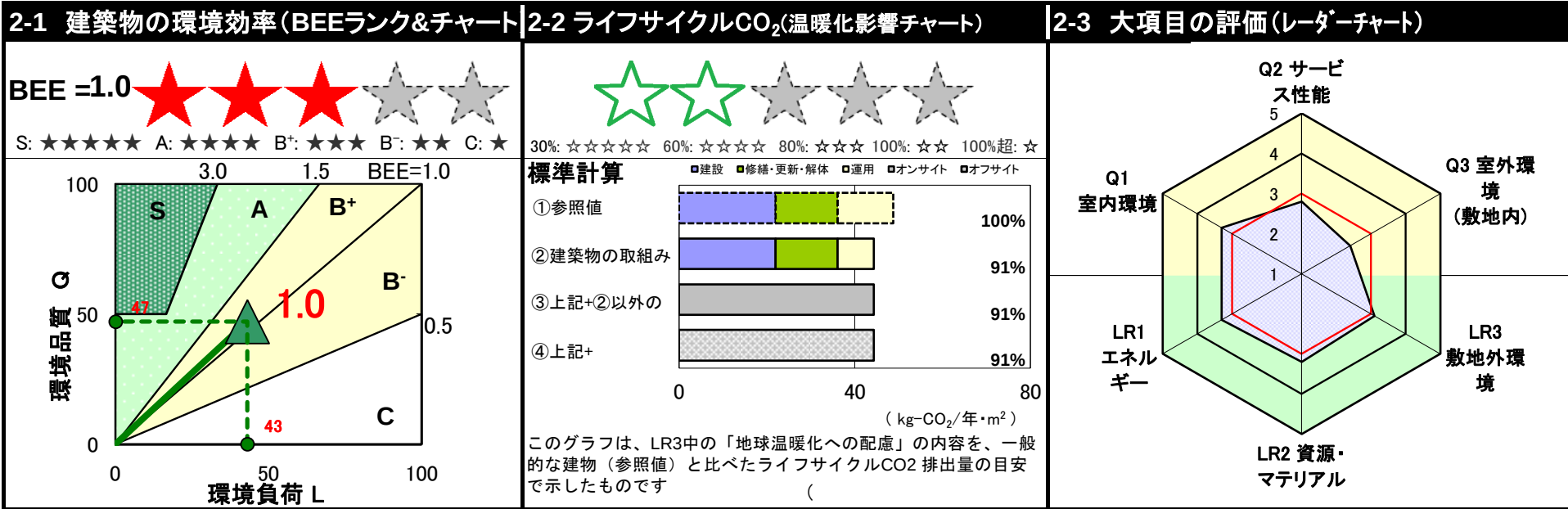
CASBEE®

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI&BEI対応) | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	シティライフ水前寺公園通り新築工	階数	10
建設地	熊本市中央区水前寺1丁目580、583	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	101 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	工場, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年6月14日
敷地面積	801 m ²	作成者	伊東 正太郎
建築面積	310 m ²	確認日	2014年6月16日
延床面積	2,345 m ²	確認者	吉永 拓郎



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補				■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版 Ver.2 (BPVBEI対応)						
シティライフ水前寺公園通り新築工事				欄に数値またはコメントを記入		■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v				
スコアシート		実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
				評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8		
Q1 室内環境					0.39			3.3		
1 音環境				2.0	0.15	3.7	1.00	3.5		
1.1 騒音		ホール: 50dB、居室: 40dB		3.0	0.50	3.5	0.50			
1	室内騒音レベル			3.0	1.00	4.0	0.50			
2	設備騒音対策			-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音				1.0	0.50	4.0	0.50			
1	開口部遮音性能			1.0	1.00	5.0	0.30			
2	界壁遮音性能	-	-	3.0	0.30					
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-45	-	4.0	0.20					
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	LH-50	-	4.0	0.20					
1.3 吸音				-	-	-	-			
2 温熱環境				1.6	0.35	3.1	1.00	2.9		
2.1 室温制御		住居部: 等級4		2.2	0.50	4.0	0.71			
1	室温			3.0	0.62	-	-			
2	負荷変動・追従制御性			-	-	-	-			
3	外皮性能			1.0	0.38	4.0	1.00			
4	ゾーン別制御性			-	-	-	-			
5	温度・湿度制御			-	-	-	-			
6	個別制御			-	-	-	-			
7	時間外空調に対する配慮			-	-	-	-			
8	監視システム			-	-	-	-			
2.2 湿度制御						1.0	0.20		1.0	0.29
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境				3.0	0.25	3.3	1.00	3.2		
3.1 屋光利用		共用部: 4.7%(ホール)、住居部: 2.5%(BタイプLDK)		4.2	0.30	4.0	0.30			
1	屋光率			5.0	0.60	5.0	0.50			
2	方位別開口			-	-	3.0	0.30			
3	屋光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30			
1	照明器具のグレア			-	-	-	-			
2	屋光制御			2.0	1.00	3.0	1.00			
3	映り込み対策			-	-	-	-			
3.3 照度						3.0	0.15		3.0	0.15
3.4 照明制御						3.0	0.25		3.0	0.25
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00	3.7		
4.1 発生源対策		F☆☆☆☆以上		4.0	0.60	4.0	0.63			
1	化学汚染物質			4.0	1.00	4.0	1.00			
2	アスベスト対策			-	-	-	-			
3	ダニ・カビ等			-	-	-	-			
4	レジオネラ対策			-	-	-	-			
4.2 換気		0.159>0.125(1/8) (Aタイプ洋室)		3.0	0.40	3.3	0.38			
1	換気量			3.0	0.50	3.0	0.33			
2	自然換気性能			-	-	4.0	0.33			
3	取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33			
4	給気計画			-	-	-	-			
4.3 運用管理				-	-	-	-			
1	CO ₂ の監視			-	-	-	-			
2	喫煙の制御			-	-	-	-			
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8		
1 機能性				2.5	0.40	2.2	1.00	2.2		
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			
1	広さ・収納性			-	-	-	-			
2	高度情報通信設備対応			-	-	3.0	1.00			
3	バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	1.0	0.40			
1	広さ感・景観			-	-	1.0	0.50			
2	リフレッシュスペース			-	-	-	-			
3	内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理						3.5	0.30		-	-
1	維持管理に配慮した設計					3.0	0.50		-	-
2	維持管理用機能の確保	ゴミ庫勾配3/100、廃棄物スペース、流し、電源、PS、点検口600角		4.0	0.50	-	-			
3	衛生管理業務			-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性				3.0	0.31	-	-	3.0		
2.1 耐震・免震		B以上使用、E不使用		3.0	0.48	-	-			
1	耐震性			3.0	0.80	-	-			
2	免震・制振性能			3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-			
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.23	-	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.15	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新	2.4 信頼性			3.0	0.19			
	1	空調・換気設備		3.0	0.20			
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
	3	電気設備		3.0	0.20			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
	5	通信・情報設備		3.0	0.20			
	3 対応性・更新性			3.3	0.29	3.4	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり		共用部:3.5m、住居部:3.06m	1.0	0.03	3.8	0.50		
1	階高のゆとり		1.0	1.00	5.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性			3.4	0.97				
1	空調配管の更新性	構造材、仕上材を痛めずに修繕・更新できる 構造材、仕上材を痛めずに修繕・更新できる	3.0	0.17				
2	給排水管の更新性		3.0	0.17				
3	電気配線の更新性		5.0	0.11				
4	通信配線の更新性		5.0	0.11				
5	設備機器の更新性		3.0	0.22				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3	
1 建物の熱負荷抑制			等級4	4.0	0.37	-	4.0	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.21	-	3.0	
	2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-		
	2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-		
3 設備システムの高効率化				3.0	0.40	-	3.0	
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		#VALUE!	4.0		-		
	集合住宅の評価			3.0		-		
4 効率的運用				3.0	0.02	-	3.0	
	4.1 モニタリング			3.0	0.50	-		
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2	
1 水資源保護				3.4	0.15	-	3.4	
	1.1 節水		節水型、省水型機器	4.0	0.40	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63	-	3.0	
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-		
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		分別しやすく、交錯しない	5.0	0.24	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22	-	3.6	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-		
	1	消火剤		-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)	発砲系なし、ノンフロン	5.0	0.50	-		
	3	冷媒		3.0	0.50	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			等級4	3.3	0.33	-	3.3	
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	2.9	
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-		
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-		
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33	-		
	3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	3.2	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-		
	1	騒音		3.0	1.00	-		
	2	振動		-	-	-		
	3	悪臭		-	-	-		
	3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-		
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-		
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-		
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-		
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満足	5.0	0.70	-		
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-		

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲の景観と調和するように、シンプルかつ落ち着いた外観デザインとした。
ゆとりある間取りで、各戸の快適性を重視した設計とした。

Q1 室内環境

居室の窓をなるべく大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。
居室のサッシはペアガラスとし、断熱性の向上を図り、遮音等級T-2以上を採用。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、全室ビニルクロスを採用。
階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁仕上材の彩度を落としたデザインとし、周囲への太陽光の反射等の軽減を図る。

LR1 エネルギー

ベランダ（庇）を広めにとり、日射遮蔽性、断熱性能の向上を図る。

LR2 資源・マテリアル

限りある資源を有効に利用する。
ハロン消火剤を使用しない。

LR3 敷地外環境

道路境界からの離れを大きくとる事で、周囲への圧迫感が軽減されるように配慮した。
植栽を設け、周囲への景観に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

シティライフ水前寺公園通り新築工事

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		72.3
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				70.9	0.40	28.36
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.15			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.01			
Q1-3.2.2	昼光制御	2.0	0.01			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	4.0	0.14			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				67.5	0.20	13.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				69.7	0.20	13.94
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数